
ネットでの毒吐きについて。

Valk

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ネットでの毒吐きについて。

【コード】

N3675Q

【作者名】

Valk

【あらすじ】

エッセイです。ネットでの毒吐きという行為について、書いていきます。

(前書き)

もによりたくない方々はどうかブラウザバックをお願いします。

もによりたくない方々はどうかブラウザバックをお願いします。

以前、というのも、ずっと昔になるんですが……。何人が友人の方々のブログを拝見していたのですが、偶に、ブログで、読者には見えない敵と戦争やってる人がいました。

その方が記事で毒を吐いたり、読者には見えない敵に攻撃する度に、なんかやたらと自分の心が抉りこまれるんですね。ああ、もしかしたら、自分じゃないか、と。その度に、お腹痛くなったり、毒吐きしたりしてw

親しい方ですし、尊敬している方ですし、何より自分かもしれないという危機感があったので、”不快になるべきではないのに、不快になる人がいるかもしれない”と、注意は出来なかったのですが、今更ながら、それを後悔しています。その方はブログをもう止めちゃってますし、仲も疎遠になってるので、今更いろいろ言うのも、阿呆ですし。

自分も毒吐きをツイッター上でしたことがあるので、決して人には偉そうなことを言えないのですが……。

ブログというのは、ホームページ、日記、ツイッター、掲示板と並んで、不特定多数に情報（くだらない自己のことから、政治や思想まで）を発信している発信の道具です。これは断言出来ます。何故なら、パスワードをかけたらしらない限り、誰でもその記事について見られるのですから。

ということ、自分は特定少数の人に言っているつもりでも、偶に、不特定多数の人々がそれについて真に受けちゃったり、するんですね。特に、身内バレを想定して、抽象的に物事を言っている時

は。

これは例えなのですが、時間に極度にルーズ（10時集合なのを、13時に出発する人）な知人が周りに居て、その人に対する鬱憤がたまり積もって、ブログで

「時間にルーズな奴らはホント何なの、死ねばいいよ。人に迷惑ばっかりかけてるのに、迷惑かけてることももしらないのか、クソが」と書くと、少し時間にルーズなだけのネットの友だちも、傷付いたりするんですよね。自分のことじゃないか、と勘ぐってしまう。

信頼関係さえあればそんなことは無い、と仰る方がいるかもしれませんが、人と人が完全無欠な信頼関係を結ぶことは不可能です。それに加え、自分に当てはまるかもしれないのに、”自分には当てはまらない。こいつは別の人のことを言っている”と思うなんて、傲慢でしかない。自分のことだと思って、それを治そうとするのは決して悪いことではないと思います。

毒を吐いている人も、傷つけるつもりでない人を傷つけるのは、不本意だと思つのです。

「その人が当てはまると思つのだつたら、その人が自分の駄目なところを治せば良いだけ」

と思つのでしたら、それもまた傲慢でしかありません。そのような方がいらしたらいけませんので、念の為。

ネットていうのは、顔が見えないだけに、余計に信頼関係は構築しづらいんですね。スカイプというテレビ電話のツールこそありますが、日本では少なくとも私の周りでは、寧ろチャットツールとして使われていますし。

本当に現状を良くする為には、難しいことだと思つのですが、どうか本人に言つて欲しいと、自分について振り返りながら、思つ所

存です。本人に向かって言えば、コミュニケーションを取る以上は口調は毒を吐くよりも丁寧になる筈なので、自分の精神衛生が無駄に毛羽立って、悪くなることもないですし、それで喧嘩になれば、思う存分喧嘩した方が良いでしょう。先述した通り、現状を打破したいのなら、それに対して努力をしなければレスポンス（結果）は帰ってこないのです。努力をせず、ただブログで毒を吐くだけなら、精神衛生上良くないし、現状も打破できない。それじゃあ、意味が無いと思う。

勿論、毒吐きには様々な状況がありますので、一元的に「ただ努力をしろ」とは言えません……。対等な関係ならば喧嘩は出来ませんが、上下関係ならば難しいです。せめて、対等な関係にあるならば、例えばネットの友だちに言うのなら、直接言った方が、変なスパイラルは生まずにすみます。

毒を吐く 違う人が勘違いする その人が毒を吐く また違う人が（ry
みたいに。

尤も、毒を吐いたとして、違う人が勘違いして自分の悪いところをなおす、という流れ自体は決して悪いわけではないと思います。ただ、悪い流れが循環し続けたり、傷付くべき人じゃないのに勘違いするのが悪いだけで。

ネットというのは、全く度し難い魔物だと思います。これを如何に操れるか、自分も気をつけたいと思います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3675q/>

ネットでの毒吐きについて。

2011年1月28日11時17分発行